

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 日機装株式会社  
コード番号 6376 URL <http://www.nikkiso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 西脇 章

TEL 03-3443-3711

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	14,548	△2.2	228	△7.4	433	△36.3	378	72.2
21年3月期第1四半期	14,882	—	246	—	680	—	219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	6.04	—
21年3月期第1四半期	3.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第1四半期	84,792	—	37,982	—	44.2	598.00
21年3月期	83,687	—	36,721	—	43.3	578.72

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 37,449百万円 21年3月期 36,242百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	34,200	△8.3	1,800	△32.7	1,800	△30.1	1,100	16.1	17.56
通期	70,000	△3.3	4,200	△12.0	4,200	0.9	2,600	90.1	41.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 72,611,464株 21年3月期 72,611,464株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 9,986,697株 21年3月期 9,986,018株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 62,625,277株 21年3月期第1四半期 64,621,063株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、依然として世界同時不況の影響が残る厳しい事業環境であり、受注高が14,045百万円（対前年同四半期比16.0%減）となり不透明な状況が続いています。

このような中、売上高は14,548百万円（同2.2%減）、営業利益は228百万円（同7.4%減）、経常利益は433百万円（同36.3%減）、四半期純利益は378百万円（同72.2%増）となりました。

## (1) 売上高

ポンプ事業本部ならびにI S O L事業本部では、製品納期の時期が9月および3月に集中する特性があるため、第1四半期の売上はさほど伸びない傾向があり、売上高は14,548百万円に留まりました。

## (2) 営業利益

原価や販売管理費などのコストの支出管理には従前以上に留意する一方、固定費用の影響、L E W A社買収費用の計上もあり、営業利益は228百万円に留まりました。

## (3) 経常利益

前年同四半期335百万円を計上した為替差益は、当第1四半期では90百万円の計上となり、経常利益は433百万円となりました。

## (4) 四半期純利益

前年同四半期に計上した社宅建て替えに伴う旧建物の除却費用のような特記すべき特別損失の計上がなく、法人税等は税効果会計により減額する調整となり、四半期純利益は378百万円となりました。

## 〔事業の種類別セグメントの状況〕

## 工業部門

## &lt;ポンプ事業本部&gt;

当第1四半期は、世界同時不況や円高の影響による主要顧客である石油、石油化学、液化天然ガス業界での大型投資案件の延期・中止の動きが依然と続いているほか、メンテナンス費用を抑制する動きも顕著になっており、受注高は3,068百万円（対前年同四半期比35.6%減）、売上高は3,400百万円（同3.1%減）となりました。

## &lt;I S O L事業本部&gt;

当第1四半期は、電子部品生産装置は関連業界で景気改善の兆しが見えつつありますが依然厳しい状況が続いており、粒度分布測定装置については世界同時不況による設備投資抑制の影響を受けております。また、電力各社の水質調整装置への新規投資が低調なこともあり、受注高は1,438百万円（対前年同四半期比29.5%減）、売上高は1,430百万円（同27.6%減）となりました。

## &lt;航空宇宙事業本部&gt;

当第1四半期は、航空機業界に波及した世界同時不況の影響は依然として続き、客先からの減産要請や納期先送りが繰り返され、また、円高の状況が持続していることもあり、受注高は687百万円（対前年同四半期比31.9%減）、売上高は689百万円（同32.2%減）と前年を大きく下回りました。

## 医療部門

## &lt;メディカル事業本部&gt;

当第1四半期は、人工透析装置の販売が透析業務の効率化・省力化を実現する機能を付加したことで順調に推移し、また、PEPA膜ダイアライザー、血液回路、および粉末型透析用剤等の透析関連消耗品の売上が透析患者数の増加を背景に伸ばしており、受注高は8,850百万円（対前年同四半期比0.7%減）、売上高は9,027百万円（同7.7%増）となりました。

## 〔 所在地別セグメントの状況 〕

## &lt; 日本 &gt;

国内は、医療部門の業績が順調に推移する一方で、工業部門の業績は予想どおり世界同時不況の影響が依然として残り、売上高は 12,619 百万円(対前年同四半期比 3.5%減)、営業利益は 633 百万円(同 15.9%減)となりました。

## &lt; アジア &gt;

アジア地域では、メディカル関連子会社の業績が順調に推移しており、売上高は 1,957(対前年同四半期比 7.4%増)、営業利益は 275 百万円(同 172.8%増)となりました。

## &lt; 北アメリカ &gt;

北アメリカ地域では、クライオジェニックポンプ関連子会社の業績が順調に推移する一方で不況の影響も出始めており、売上高は 811 百万円(対前年同四半期比 10.6%増)、営業利益は 31 百万円(同 72.7%減)となりました。

## &lt; ヨーロッパ &gt;

ヨーロッパ地域では、ポンプ関連の子会社の事業を持分法適用の合併会社に譲渡する一方で、前期に不良債権処理を行ったメディカル関連の子会社の業績が回復しており、売上高は 1,763 百万円(対前年同四半期比 11.9%減)、営業利益は前期の営業損失から黒字転換してプラス 22 百万円(同 128.6%増)となりました。

- (注) 1. 所在地別セグメントの売上高は、当社グループ内取引において生じた売上高(総額 2,603 百万円)を含んでおります。  
2. 所在地別セグメントの営業利益は、当社グループ内取引において生じた利益額(総額 734 百万円)を含んでおります。

## 〔 研究開発の状況 〕

当社グループのモノづくりを支える研究開発の拠点として、2009年7月に100%出資子会社の「株式会社 日機装機技術研究所」を設立いたしました。当研究所では、中長期にわたる製品、技術、未来に繋がる基礎技術の研究、生産技術の刷新などを通じて、更なる技術革新に取り組んでまいります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産合計は 84,792 百万円となり、前期末に比べて 1,104 百万円増加しています。株価回復による投資有価証券の時価評価額が 1,336 百万円増加したことが主因です。

当第1四半期末の負債合計は 46,810 百万円となり、前期末に比べて 155 百万円減少しています。短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金や賞与引当金等が減少しています。

当第1四半期末の純資産合計は 37,982 百万円となり、前期末に比べて 1,260 百万円増加しています。投資有価証券の株価回復に伴うその他有価証券評価差額金の増加が主因です。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想は、国内外の景気動向、ドル・ユーロの対円為替相場の動向が依然不透明の中ではありますが、現時点では、平成21年5月7日に発表しております予想数値の修正はございません。

なお、現在買収手続きを進めております L E W A 社の業績は、当社グループの経営の成長に安定的に寄与するものと判断しています。当期業績への影響については大きくないものと予想しますが、今後、同社の業績予想数値を明確に把握した上で、当社グループの当期連結業績予想数値修正の要否を検討のうえ対応いたします。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## 2 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

## 3 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度に係る年間償却見積額を期間按分する方法によっております。

## 4 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

## 5 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,541	10,248
受取手形及び売掛金	21,646	25,274
商品及び製品	5,041	4,770
仕掛品	3,850	3,038
原材料及び貯蔵品	6,308	6,388
繰延税金資産	1,184	1,036
未収還付法人税等	1,098	1,073
その他	1,137	1,253
貸倒引当金	△401	△393
流動資産合計	52,408	52,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,180	10,146
機械装置及び運搬具(純額)	3,282	3,359
土地	3,642	3,635
リース資産(純額)	191	212
建設仮勘定	135	170
その他(純額)	1,498	1,511
有形固定資産合計	18,930	19,035
無形固定資産		
のれん	638	688
特許権	102	99
電話加入権	43	43
リース資産	129	141
その他	977	753
無形固定資産合計	1,891	1,727
投資その他の資産		
投資有価証券	9,155	7,818
長期貸付金	20	20
繰延税金資産	373	377
破産更生債権等	24	22
前払年金費用	1,043	1,035
その他	965	978
貸倒引当金	△20	△17
投資その他の資産合計	11,562	10,234
固定資産合計	32,384	30,997
資産合計	84,792	83,687

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,909	10,145
短期借入金	8,049	6,579
1年内返済予定の長期借入金	2,093	2,091
リース債務	125	129
未払金	1,736	1,789
未払消費税等	22	90
未払法人税等	245	258
未払費用	622	589
賞与引当金	731	1,492
役員賞与引当金	14	60
設備関係支払手形	4	18
その他	1,465	1,412
流動負債合計	24,020	24,657
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	15,050	15,080
リース債務	199	229
繰延税金負債	1,269	718
退職給付引当金	219	215
役員退職慰労引当金	38	51
長期預り保証金	12	12
固定負債合計	22,790	22,308
負債合計	46,810	46,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,094	6,094
資本剰余金	10,265	10,265
利益剰余金	29,474	29,471
自己株式	△8,274	△8,274
株主資本合計	37,559	37,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	927	98
為替換算調整勘定	△1,037	△1,412
評価・換算差額等合計	△110	△1,314
少数株主持分	532	479
純資産合計	37,982	36,721
負債純資産合計	84,792	83,687

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	14,882	14,548
売上原価	10,517	10,411
売上総利益	4,364	4,136
販売費及び一般管理費	4,117	3,908
営業利益	246	228
営業外収益		
受取利息	21	6
受取配当金	126	102
持分法による投資利益	18	46
受取賃貸料	38	37
為替差益	335	90
その他	55	84
営業外収益合計	595	369
営業外費用		
支払利息	156	138
その他	5	25
営業外費用合計	161	163
経常利益	680	433
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除却損	107	2
固定資産売却損	5	—
たな卸資産評価損	69	—
ゴルフ会員権評価損	1	—
特別損失合計	183	2
税金等調整前四半期純利益	500	434
法人税等	272	23
少数株主利益	7	31
四半期純利益	219	378

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	500	434
減価償却費	678	683
のれん償却額	61	60
有形固定資産除却損	107	2
有形固定資産売却損益(△は益)	2	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
ゴルフ会員権評価損	1	—
持分法による投資損益(△は益)	△18	△46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	77	6
前払年金費用の増減額(△は増加)	△64	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△139	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△877	△762
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52	△46
受取利息及び受取配当金	△147	△109
支払利息	156	138
為替差損益(△は益)	△148	37
売上債権の増減額(△は増加)	3,801	3,725
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,417	△876
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,210	△1,379
未払消費税等の増減額(△は減少)	102	△67
その他	△138	109
小計	292	1,884
利息及び配当金の受取額	168	194
利息の支払額	△60	△19
法人税等の支払額	△1,592	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	1,900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25	△89
定期預金の払戻による収入	21	38
有形固定資産の取得による支出	△836	△512
有形固定資産の売却による収入	24	11
その他の無形固定資産の取得による支出	—	△230
投資有価証券の取得による支出	△177	△0
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	2	—
短期貸付けによる支出	△3	△3
短期貸付金の回収による収入	11	3
長期貸付けによる支出	△3	—
長期貸付金の回収による収入	1	0

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△983	△783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,306	1,754
短期借入金の返済による支出	△548	△262
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△33
長期借入金の返済による支出	△12	△82
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△387	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,356	998
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△923	2,245
現金及び現金同等物の期首残高	10,565	9,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,642	12,076

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,498	8,383	14,882		14,882
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	6,498	8,383	14,882		14,882
営業利益	279	631	911	(664)	246

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,520	9,027	14,548		14,548
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	5,520	9,027	14,548		14,548
営業利益	129	994	1,123	(894)	228

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

## (工業部門)

## &lt;ポンプ事業本部&gt;

制御容量ポンプ、キャンドモータポンプ、低温用サブマージドポンプ、コンプレッサ、自吸式スラリーポンプ、プランジャ式ハイパワーポンプ

## &lt;I S O L事業本部&gt;

火力・原子力向試料採取装置、薬液注入装置、復水検塩装置、水質分析計、プロセス制御システム、工場排水処理装置、粒度分布測定装置、ゼータ電位測定装置、インライン粉体プロセス粒度測定装置、粉体ラボ用自動化システム、比表面積測定装置、冷間等方圧プレス、温水ラミネータ、ドライラミネータ、Itabar 流量計、産業用除湿機(ドライヤー)、アイソ・ボンダー

## &lt;航空宇宙事業本部&gt;

炭素繊維強化樹脂(CFRP)成形品、マテライトコンポジット

## (医療部門)

## &lt;メディカル事業本部&gt;

人工腎臓装置、透析用消耗品、透析用剤、人工臓臓、輸液ポンプ、透析排水 PH 処理装置、医療機器ポンプ、血液浄化用装置他

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,490	918	476	1,997	14,882		14,882
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,591	904	257	4	2,756	(2,756)	
計	13,081	1,822	733	2,001	17,639	(2,756)	14,882
営業利益又は営業損失( )	753	100	116	78	892	(645)	246

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,571	892	321	1,762	14,548		14,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,047	1,065	489	0	2,603	(2,603)	
計	12,619	1,957	811	1,763	17,151	(2,603)	14,548
営業利益	633	275	31	22	963	(734)	228

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム  
 (2)北アメリカ : アメリカ  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	2,258	1,270	2,102	156	5,787
連結売上高(百万円)					14,882
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.2	8.5	14.1	1.1	38.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 韓国、中国、台湾他 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ他 (4)その他の地域 : ブラジル他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	1,904	838	2,273	629	5,645
連結売上高(百万円)					14,548
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.1	5.8	15.6	4.3	38.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、韓国、インド他 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ、ベルギー他 (4)その他の地域 : オーストラリア他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。